

有害プランクトン情報 (平成 30 年度 - No. 1)

千葉県水産総合研究センター
東京湾漁業研究所
千葉県農林水産技術会議

水産総合研究センターは東京湾でプランクトン調査を行っています。プランクトンの種類や密度によっては、魚類や二枚貝などに影響を与えるので、毎月 1 回有害プランクトンの出現状況をお知らせします。

○ 調査日	沖合	4 月 第 1 回	内湾 (8 地点)	4/3	内房 (7 地点)	4/3
		4 月 第 2 回	内湾 (8 地点)	4/17	内房 (7 地点)	4/19
	貝類漁場内	千葉北部	4/9,23	木更津北部	4/14,23	木更津南部 4/10,24 富津 4/11,26

【有害プランクトンの出現状況】

- シャットネラ属、シュードシャットネラ属、ヘテロシグマ属、カレニア属は確認されませんでした。
- 赤潮 (透明度 1.5 m 以下、pH8.5 以上、酸素飽和度 150%以上) は確認されませんでした。
- ※ シャットネラ属プランクトンは 1 細胞/mL, ヘテロシグマ属プランクトンは 1000 細胞/mL, カレニア属プランクトンは 100 細胞/mL の密度を超えた場合に注意報を発行します。

【貝毒プランクトンの出現状況】

- 麻痺性貝毒原因プランクトンは確認されませんでした。
- 下痢性貝毒原因プランクトンの最大密度はディノフィシス アキュミナータが 4/3 に船橋で 0.05 細胞/mL、ディノフィシス カウダータが 4/3 に岩井で 0.05 細胞/mL、ディノフィシス ロツンダータが 4/3,17 に内湾で 0.05 細胞/mL でした (いずれも検出限界程度)。

(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

○ 各海域で見られたプランクトンの優占種

4/3	内湾	珪藻	スケルトネマ属(図 1) タラシオネマ属(図 2)
	内房	珪藻	キートセロス属、スケルトネマ属、 タラシオシラ属
4/17	内湾	珪藻	タラシオネマ属
4/19	内房	珪藻	キートセロス属、タラシオネマ属

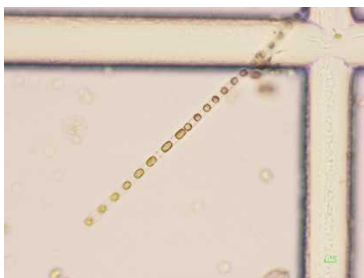
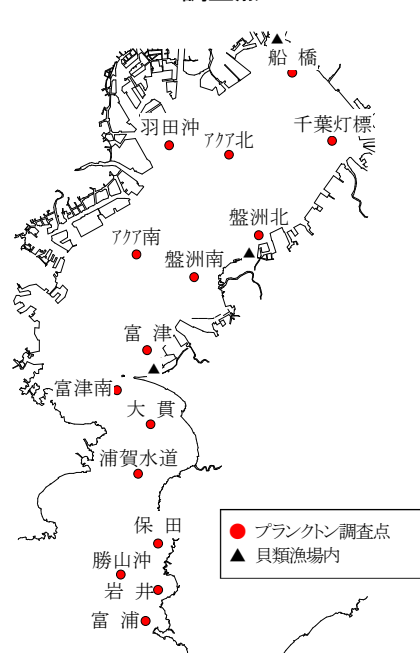


図 1 スケルトネマ属
(4/3 富津)



図 2 タラシオネマ属
(4/3 羽田沖)

調査点



連絡先 : 千葉県水産総合研究センター 東京湾漁業研究所

〒293-0042 富津市小久保 3091 TEL 0439-65-3071 E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp